

有明高専だより

第42号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944 53 1011

印刷・久留米軽印刷(有)

特集

卒業にあたつて

父兄から

建築学科 坂口 弘

高専合格のあの喜びの日より既に五年、その間、厳しい学業やスポーツで鍛えられ、「よくぞここまで育つてくれた」と親としての喜びは隠しません。

少年期の大半を本校に学び、今や青年として、成人として、果立たんとしています。思えば身心共に最も成長盛んな、しかも多感な年頃の学生を毎日毎日根気強く指導して下さった諸先生方のご苦労は察するに余りあります。親は学校に任せ放しの状態で、家庭での会話も少く、学習の面倒を見る事ができず、ただおろおろするばかりでしたが、現在我が子の姿を見ると、今さらながら或る見えない何物かに……或いは天の采配でも、両手を合わせたい様な衝動にかられます。確かに息子はラッキーでした。自己の実力以上の学校に入学でき、立派な環境設備の中で、良き師、良き友に囲まれて五年間をのびのびと過す事ができたのは、当然周囲の

教官から

ハイテツク・ハイタツチ

一般科 横口 大成

オイルショックの影響で、経済不況は益々深刻化しつつあった昭和五十年二月普通高校に入学願書を出していた長男が突然高専受験を思い立ち、再考を促す中学校の担任の先生や、私共両親の意見も通することなく、本人の意志通り

専修大試を試みたのでありました。運よく入学を許され、四月には電気工学科に入学できたのであります。人にはそれぞれの道がありますが、五年間の恩恵は、「卒業後社会へ還元せねばならぬ」と云う事を。人はそれぞれの道がありましたが願わくば何らかの形で社会に奉仕する心の持ち主になつて欲しい。

激動の八十年代と云われる多難な時代に第一便とし果立たんとする若人の前には来るべき波風が当然荒れ狂うことでしょう。こんな時世には若年者の常として生活する事に精一杯かもわかりません。

昭和十七年、太平洋戦争中の「婦人公論」に「小国民はいかにを遺族にしてあげたい。お母さんもきっと喜んで下さる」とあり、讀辭がコメントされていました。子供は燃えているのだ。

小学生の作文を集めて讚美している一評論がある。諸君にも、当時お國のために戦死することが名譽の人間性の持ち主になって欲しい。

云うまでもなく、高専で培かれた実力と、大学なりの基礎学力は必ずや、この波風を突破するものと信じます。何時までも母校と教師の薰陶を忘ることなく、友情を温めつづ大きく羽ばたかん事を念じ、諸先生方への謝辞の一端と

得ない時代がありました。

いざ入学させて父兄面接あるいは後援会等の学校訪問に機会ある

毎に出席しまして、その教育内容

及び施設の充実ぶりには驚くべき

ものがありました。特に大学等に

おいては学園紛争の余波が未ださ

めらぬ時期に、その整然とした

機構のもとに校長先生をはじめ諸

先生方の熱心な教育には、父兄と

で、たゆまぬ御指導をいただきま

した先生方に心

から厚くお礼申

あげます。次

して、只々感謝の他はありません

でした。昭和三十八年高専の学制

が創設された趣旨のとおり、中堅技術者の実践的養成教育機関とし

て、真にその役割を果し、又一方

り、親としても卒業後の就職につ

いていざかの不安を感じざるを

な受験勉強とは全く趣きを異にし

るものであります。

となると、狂氣の感動である。

話は逆だが、先ごろ日本教育界には、若者の三無主義が五無主義に変わってきたと語っている。それには、無感動が加わっている。そ

の原因はいろいろあるだろうが、私も、本校学生にも多くそれにそれを

感じ続けてきた。新聞を読まず、

社会のためにひと働きしよう

うのは結構だが、その延長上に

は、何かに命を擰げるといった感

動・似而非感物語が生まれる。

前者の狂氣と、後者の無感動と

は紙一重で、ファシストの好敵で

有明高専だより

昭和55年2月25日

有明高専だより

昭和55年2月25日

(5) 第42号

精神に富み、指導力のある学生を求めてることは過去、現在に周知のことである。教室として五年生になり就職の指導を始めるが、その基礎は学生自らの四年までの学習に基づくことは云うまでもない。社会が期待し、自ら誇り得る技術者として大成するための基礎は学生生活の間に築かれるものと信じます。平常の努力こそが何れの場合にも最大の力を自らに与えることは明らかである。

次に新卒業生諸君に一言申し上

す。

思考法を伝授する場所であると信ずる。電気系学科の如く進歩的で、それが既に旧式化しかねない現状で、技术者として大成するための基礎は学生生活の間に築かれるものと信じます。法は十分力となり得ると信じます。諸君の止むことない努力こそ最大の力となると信じ活躍を祈ります。

工業化学科主任教授 勝田正男

卒業式の感概は、入学式と同じに厳粛な中に喜びと希望が一杯詰まつたものであろう。やれやれこれであの重苦しい試験から解放された、との嬉しさと共に、新しい職場で、新しい訓練がある。果して他人に負けずやつて行けるか、と多少の不安の影は射すが、知らず知らずに笑がこみあげて来る春の一日。両親も満足そうで、これで親の期待に答えたと言う安堵感が伴う。

それを学んでみてつくづく思ったことは、電気というのもまた難しい学問の一つということである。今まで勉強してきたものは、基礎的なものにすぎず、これからは、その中の小さい分野に目標を決め、より高度なものを探求し、社会に貢献できる技術者になりたい。専門的な勉強のほかにもいろいろと学んだ五年間であった。

そして、卒業期待と不安が交錯する今の心境は複雑である。波静かな所から一転して、波荒い大海原へぼうり出されるような感じもする。とにかく社会人となつたからには最善を尽したいと思う。五年間、我々を御指導して下さった教官の皆様、いろいろとお話を聞いていただいた事務員の皆様に深く感謝致します。

工業化学科5年 福島哲夫

光陰矢の如しという言葉を、しみじみと痛感している。帽子を被つて入学した日のから、もう五年の月日が流れようとしているのである。その今だから自らできるが、私のこの工業化学科の選択はあまりにもいいかげんなものだつた。手が無用で製図もきらいだつたため機械、建築に向かないだろうと思、また電気は特にだめで、配線図等を見るぞつとす

五年間での思い出を、いくつか拾

書のノートなるものを書くために、先生をうら

みながらも最初から最後まで読ん

だものだつた。今思えば、そのこ

の読書が今も続いているのだ

から、ほんとうに棚町先生には感

謝の気持でいっぱいである。

次にクラブのこと。私が入つた

のは英会話クラブ（ESS）であ

った。二年生の終わり頃に入部した

ので、もうまる三年活動したわけ

だが、英語がべべらべられる

ようになつたかというと、そうち

を下さつた方から、「遅刻

をするくらいなら休んたほうがよ

い」と聞かされたりしたために、

生活はビリッと引きしまり、充実

したものであつた。この工場実習

で得たものは大きかつたと思って

いる。蛇足ながら、私は、四年生

のときから、その会社への就職を

希望していたのだが、五年生の九

月になって、「今年は採用を見合

わせます」という旨の通知が、学

校へ届いたのである。このときは

生方の言葉を思い出し、ほほえま

ざる時が来るだらうと思っている。

頭の中を駆け巡る数々の思い出

まるで試験に落ちたような気分に

なつてしまつた。これも忘れられ

ない思い出である。

とりとめのない文章をすらすら

書いたが、最後に就職のことにつ

いても、難しい文章になるとすぐ

日本語になり、それが「だべり」

がよりよいESSを書いてくれる

いるし、何よりも先輩や後輩との

繩つながりができることがうれ

しかつた。これからは、後輩たち

ら、少しはましになつたと思つて

いる。四、五年になると、

マスクミで話題となる汚染や化

製品の開発その他多くの化学関係

のニュースには自然と目が行くよ

うである。四、五年になると、

きから、こつこつとマイペースで

勉強するうちに、私の身体も工業

化学科の体質になつてしまつたよ

うである。四年生のときの棚町先

生の思い出である。先生からは説

明本を毎日読まされた。そのころは

要領といふのを知らず、眞面目

そのものだつたので、先生をうら

みながらも最初から最後まで読ん

だものだつた。今思えば、そのこ

の読書が今も続いているのだ

から、ほんとうに棚町先生には感

謝の気持でいっぱいである。

次にクラブのこと。私が入つた

のは英会話クラブ（ESS）であ

った。二年生の終わり頃に入部した

ので、もうまる三年活動したわけ

だが、英語がべべらべられる

ようになつたかというと、そうち

を下さつた方から、「遅刻

をするくらいなら休んたほうがよ

い」と聞かされたりしたために、

生活はビリッと引きしまり、充実

したものであつた。この工場実習

で得たものは大きかつたと思って

いる。蛇足ながら、私は、四年生

のときから、その会社への就職を

希望していたのだが、五年生の九

月になって、「今年は採用を見合

わせます」という旨の通知が、学

校へ届いたのである。このときは

生方の言葉を思い出し、ほほえま

ざる時が来るだらうと思っている。

頭の中を駆け巡る数々の思い出

まるで試験に落ちたような気分に

なつてしまつた。これも忘れられ

ない思い出である。

とりとめのない文章をすらすら

書いたが、最後に就職のことにつ

いても、難しい文章になるとすぐ

日本語になり、それが「だべり」

がよりよいESSを書いてくれる

いる。四年生のときの棚町先

生の思い出である。先生からは説

明本を毎日読まされた。そのころは

要領といふのを知らず、眞面目

そのものだつたので、先生をうら

みながらも最初から最後まで読ん

だものだつた。今思えば、そのこ

の読書が今も続いているのだ

から、ほんとうに棚町先生には感

謝の気持でいっぱいである。

次にクラブのこと。私が入つた

のは英会話クラブ（ESS）であ

った。二年生の終わり頃に入部した

ので、もうまる三年活動したわけ

だが、英語がべべらべられる

ようになつたかというと、そうち

を下さつた方から、「遅刻

をするくらいなら休んたほうがよ

い」と聞かされたりしたために、

生活はビリッと引きしまり、充実

したものであつた。この工場実習

で得たものは大きかつたと思って

いる。蛇足ながら、私は、四年生

のときから、その会社への就職を

希望していたのだが、五年生の九

月になって、「今年は採用を見合

わせます」という旨の通知が、学

校へ届いたのである。このときは

生方の言葉を思い出し、ほほえま

ざる時が来るだらうと思っている。

頭の中を駆け巡る数々の思い出

まるで試験に落ちたような気分に

なつてしまつた。これも忘れられ

ない思い出である。

第三に、旅行。これは三年生頃

から、山陰・北陸・信州、北海

道、倉敷、岡山、以上一人旅。そ

れと修学旅行。旅はいいものだ

が、われ先にとヘン先をつつき、

とにかく、過去の羅列より、現在考

えて、今は景気がやや上向きで

いる。クラブル内で英語で話して

いる。四年生のときの棚町先

生の思い出である。先生からは説

明本を毎日読まされた。そのころは

要領といふのを知らず、眞面目

そのものだつたので、先生をうら

みながらも最初から最後まで読ん

だものだつた。今思えば、そのこ

の読書が今も続いているのだ

から、ほんとうに棚町先生には感

謝の気持でいっぱいである。

次に、西村博文

建築学科5年

入学して以来、五回の冬が過

ぎようとしている。あと数週間も

本人にとつてどれほど価値のち

がいがあるかは、すぐにわかるだ

が、われ先にとヘン先をつつき、

とにかく、過去の羅列より、現在考

えて、今は景気がやや上向きで

いる。クラブル内で英語で話して

いる。四年生のときの棚町先

生の思い出である。先生からは説

明本を毎日読まされた。そのころは

要領といふのを知らず、眞面目

そのものだつたので、先生をうら

みながらも最初から最後まで読ん

だものだつた。今思えば、そのこ

の読書が今も続いているのだ

から、ほんとうに棚町先生には感

謝の気持でいっぱいである。

次に、西村博文

建築学科5年

入学して以来、五回の冬が過

ぎようとしている。あと数週間も

本人にとつてどれほど価値のち

がいがあるかは、すぐにわかるだ

が、われ先にとヘン先をつつき、

とにかく、過去の羅列より、現在考

えて、今は景気がやや上向きで

いる。クラブル内で英語で話して

いる。四年生のときの棚町先

生の思い出である。先生からは説

明本を毎日読まされた。そのころは

要領といふのを知らず、眞面目

そのものだつたので、先生をうら

みながらも最初から最後まで読ん

だものだつた。今思えば、そのこ

の読書が今も続いているのだ

から、ほんとうに棚町先生には感

謝の気持でいっぱいである。

次に、西村博文

建築学科5年

入学して以来、五回の冬が過

ぎようとしている。あと数週間も

<p

入学志願者の推移及び入試説明会の状況

教務主任事

高等専門学校の入学志願者数は、第一次オイルショックで激減したが、その後漸増の傾向です。なお、以下の第二次オイルショックの影響も生じるのではないかと懸念しております。

オイルショックによる経済的影響で、大学受験生の理工科ばかりが進行中であることは御承知の通りでしようし、なつかつ高等教育を受ける年令層が減少しつつある

本校の分については、本年度分も加えて別表に掲げましたので御参考下さい。

このことは、既に本校を卒業した

れた千四百余人の卒業生諸君の評

ではないかと思われます。

本校の分については、本年度分も加えて別表に掲げましたので御参考下さい。

このことは、既に本校を卒業した

れた千四百余人の卒業生諸君の評

特集 利用者之声

有明高専図書館だより(32)

図書委員になつて

武末由美子

我校の図書館は、一階に新聞閲覧室、二階にセミナ室、オーディオ室、閲覧室、三階には視聴覚室、電算機室、カウンセラリ室を完備した近代的且合理的な施設だと思う。私も本校に入学して約四年。各種レポートの参考文献を搜す以外、割と本好きの私は、暇な時図書館はいい安息の場所として利用してきた。最近本の貸出しが一週間中できるようになり更に便利になった。

だが学生の図書館利用率はあまり高くなく、一日のうちで最も多く学生が集まる昼休みも雑談にふけり、耳にすることで、また私自身も感じることだが、上曜日の午後の図書館利用についてである。現在は、十二時三十分で閉館となるが、土曜日も平常通り午後

五時迄利用させて欲しいという要望が至る所でささやかれている。図書館側でも、管理等の面で問題点はあるであろうが、事務の方々も当番制などを設けて実施していただけたらと切望する。

従来図書館とは、「勉学の場」、「教養・娛樂の場」として誰もが心易く利用できる雰囲気・環境を

発展に図書委員会を通じて活動してはどうかと思う。そうやって学生達に、本校の図書館の有用性、価値觀を深く浸透させるべきではないかと考えるのである。本校は、理工科系の専門学校である。だが、それでも当番制などを設けて実施していただきたいと切望する。

従来図書館とは、「勉学の場」、「教養・娛樂の場」として誰もが心易く利用できる雰囲気・環境を

図書館について

3A 藤崎剛

入学当時、一番すばらしく思つたのは、この図書館である。今まで図書室しか知らないかった僕にとっては、独立した図書館といふのはとても魅力的であった。

ところで、学校の内容はその学校の持つ図書館、蔵書数でわかるといわれている。それは、とりもなおさず図書館はその学校においての文化の中心であるということである。我が校には、立派な図書館があるし、蔵書も四万冊近くある。

さて、これが文化は完全である。我が校の図書館は、その学校においては、この図書館である。今まで図書室しか知らないかった僕にとっては、独立した図書館といふのはとても魅力的であった。

こんな図書館を希望

1A 松本尋己

大勢の者が利用していく静かである。一言で言つたらこんな感じがある。『図書館に対する僕の不満は二つある。』

一つは蔵書が少いということである。とにかく立派な図書館があるが、いくらくの名著があるうども、それが図書館へ行けば得られるとはならない。それでは具体的に何

いうことは幸いなことなのである。この事実を私達は自覚して、本に對する堅苦しい觀念を捨て、もう一度親しみを教養を深めるなどと

大切な物価高騰に伴じて本一冊の値段も私達の持つ範囲ではまだならない。それで読みたい本があれば、図書館へ行けば得られるとはならない。それでは具体的に何

冬季球技大会後記

体育局長 浦島和浩

生等の自主性を希望します。
球技大会の種目に關しても現在
限られていますが、他に適當な種
目があれば、申し出て下さい。ま
た他に意見・要望がありましたら
われた。

ラグビー大会決勝は、去る十一月
二十四日に、本校グラウンドで有明
高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

試合は、軟弱な
グラウンドで午前十
時半に久留米のキ
ーを試合で始まり、
下さった教職員、各クラブのキャ
ブテン初め部員の方々に厚い感謝
の意を表して、この手記を終わり
たいと思います。



昭和五十四年十一月二十八日(水)
冬季球技大会が開かれた。

当口は、どんよりとした曇り空
で、時折雨間が覗くほどで、肌
寒く、また運悪く午後からは雨の
到来で、閉会式は体育館でという
状態であったが幸いにも怪我人も
なく、学生等は、寒さにも負けず
数々の熱戦を開催してくれた。

種目は、サッカー、バスケット、
ハンドボール、卓球であり、接戦
の結果、優勝クラスは、サッカー
五年機工学科、バスケット三年
建築学科、ハンドボール四年機械
工学科、卓球二年建築学科であ
り、最優秀クラスは、一年工業
化学科と三年建築学科の2クラス
となつた。殊に、二年工業化学科
の頑張りは頗るなもので、若きの
エネルギーを見事に発揮させてく
れた。また、一年生にとっては、
サッカー、バスケットは初めてで
あつたにもかかわらず、よく頑張
ついた。今後の奮起を期待したい。

この様な好戦を交じえたにもか
かわらず、毎回の様に朝の集合狀
態が非常に悪かった。天候が曇味
であつたことも一因と思えるが、そ
の事実はスポーツに限らず、あ
らゆることに対する自主性の欠如
を証明していると考えられる。

大会前の練習時間中でも、その
傾向が見られ、利用率も、サッカ
ー(約60%)、バスケット(約50%)
ハンドボール(約30%)と少なく
のあと久留米の右
ゴール前で、ナンバーイットが腕
を負傷し試合復帰困難となりメン
バー交代せねばならなくなつた。
その後すぐ有明はペナルティを得
てプレイするものが多く、やはり積
極性に欠けている点が目立つた。

今後は、上級生が中心となり、こ
のようないことがないようにもと
利用者も下級生が多かつた。当日
の種目出場者の中には、重複して
行した。そしてこの
のあと久留米の右
ゴール前で、ナンバーイットが腕
を負傷し試合復帰困難となりメン
バー交代せねばならなくなつた。
その後すぐ有明はペナルティを得
てプレイするものが多く、やはり積
極性に欠けている点が目立つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。

第三部は田中君のジョーク混り
の司会もあって、盛り上がりアン
コールのアンコールまでかかる程
であった。エンディングで恒例の
「エクスダメ」を奏ぐる時には感
激でいっぱいであった。先輩方が築き上げて下さった私
たちの精神舞台が絶え間なく開催さ
れるように部員一同、一層の努力
をしていきたいと思います。

最後に演奏会の開催のために御
協力いたいた先生方ははじめ、関
係者の方々、司会の田中君に心か
ら御礼申し上げます。

昭和五十四年度九州A地区高専ラグビー大会
ラグビー部主将 鶴 大二郎

高専と、前日の対北九州高専戦で
の勝者である久留米で行
われた。

後半、体力不足のためか、五ト
ライ、2ゴール、2ペナルティゴ
ールを許し、一方的なゲームでノ
ーサイドとなつた。

そして、ペナルティキックでク
ロスバーにボールが当つて跳反る
など、不運な面と、やはり力の差
があり、最終的にスコアは、○対
○で終つた。

最後に、確かに一方的なスコア
でゲームは終つたが、部員一人一
人一年間の泥塗、汗塗の練習の成
果を出した結果と信じるし、
その意味で悔いのないゲームだつ
たと思い、来年こそ全国大会出場
四十四で終つた。</